



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 448 号

1968.4.16(火) 晴

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
② 0707.2838
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

会報はご家族みんなでよみましょう

ロータリアンとしてのあなたの
資格を効果的に

Make Your Rotary
membership effective

2月	地区別 出席順位	67ク ラブ	50位	会員 60名	出席率 86.67%	前月 順位	49
----	-------------	-----------	-----	-----------	---------------	----------	----

出席報告

本日の出席 会 員 数 59名
出席数 45名
出席率 76.27%

欠 席 者 阿部(公)君、千葉君、長谷川君、平田(圭)君、平田(貢)君、五十嵐(伊)君、森田君、大竹君、大野君、黒谷君、菅原君、谷口君、高橋君、津田君

前回の出席 前回出席率 71.19%
修正出席数 54名
確定出席率 91.53%

マークアップ 長谷川君—東京北RC
大竹君—酒田RC
阿部(公)君、荒明君、張君、池内君、森田君、中台君、岩網君、大野君、黒谷君、津田君—鶴岡西RC

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ビジター 齋藤繁雄君—村上RC
栗本敏直君—鶴岡西RC

ソング 手に手つないで リーダー 安藤君

司 会 会長 齋藤得四郎君

卓 話 鶴岡織物構造改善について

岩網末松君

今年明治100年祭だそうであります。明治の始めに先覚者達が日本に紡績という産業を取り入れ、だんだん発展して日本の経済に重要な地位をしめ、先進国のイギリスのランカシャの紡績を駆逐したのであります。鐘紡東洋紡、日紡が株式界での花型であった事は承知の方も多いと思うのであります。

大正11年頃には、生糸絹織物で、日本の輸出の49%をしめていたのであります。アメリカの婦人靴下用として40万俵(1俵は60キロ16貫であります)の生糸を輸出したのであります。郡是製糸、片倉製糸の華かな時代があったわけです。

簡単に言えば生糸を輸出し、その金で棉花を買い付け、縮糸絹織物に加工してこれを輸出し、それによって得た外貨で鉄屑その他の資源を輸入し、大正以来日本経済発展の基盤が培われたといえると思います。

昭和の始めに日本で人絹糸が興り、日本では人間造糸絹糸である。又欧州では、芸術的生糸として宣伝し、帝人、東レ、旭化成、倉敷レーヨンがこれを生産に力を入れ、レーヨン、アセテート、ベルベット、絹糸等戦争前にはアメリカに次ぐ世界第二の生産国となり輸出にも大きく貢献したのであります。

昭和11年アメリカのデュポン社が、ナイロンを発明、発表したのであります。クモの糸より細く、鉄より強い、石炭と空気と水から出来た繊維と云う唄い文句で、繊維界に新風を起し、婦人用の長靴下は凡てナイロンになり、生糸の分野が完全に喰われてしまったのであります。日本でも東レがいち早くナイロンの製造を始め、今日の基礎を造り、日レ、帝人、旭化成、鐘紡等相次いでナイロンを造り、ナイロン時代が生まれたのであります。

今日では、ナイロンと云えば女物の代名詞になり、ボクエステルのテトロン、ビニロン、アクリルの各々の長織物が造られて居り、又それ等の異型糸、或は混ぜ合わせた糸が出廻って居り、私共でもわからない程次ぎ次ぎに変わっているのであります。

過去輸出のおおむねをしめた生糸は、国内に於ける和装のための消費が年と共に旺盛になり、又そのために生糸の値も高くなり、絹織物の輸出は昭和35年をピークとして逐年減って参りました。現在では全く微々たる数量に減っている所以であります。因に昭和42年度の生糸の生産高は、日本が54%の3万5千俵、中共の26%15万俵、ソビエト7%の4万俵であります。

消費に於いて、日本が33万5千俵で全体の58%、ヨーロッパは全部で6万俵で10%、アメリカ5万俵9%、日本の輸出全生糸絹織物で2万3千俵ですが、輸入の方は生糸で2万9千俵、絹織物で1万4千俵、かつての輸出国から、輸入国に転落したのであります。

日本の女性は、世界一ぜいたくな衣料生活をしているとのこと。一般に収入の増えたことは望ましいことではあります、永年輸出の絹織物を製造して参りました。私共としては、何かさびしいことに思えるのであります。

簡単に大正から繊維の移り変わりの一部を申し上げたのであります、興亡の歴史でもあります。

絹糸、綿布はインド、パキスタン、中共等

日本の紡績がランカンヤの紡績を駆逐したその道に追上げられており、絹織物についても同様に中共、韓国の安い賃金と立ち打ちが出来ないのであります。因にアジア諸国の賃金は20~30%、比較的高い香港でも60%と云われております。参考に申し上げますと、中共製糸は生糸、絹織物共に毛沢東の記録による信仰的なもので、比較にならぬ程優れております。又イギリス、フランス、西ドイツ等の先進国は政府の強力な助成策と輸入制限など自国の織布業の構造改善を進め、急速に国際競争力を高めている。

年々上昇するであろう物価とベースアップ、労務の不足、しかも海外市場で競争裡をどうして乗り切っていくか、日本の繊維業界は全く困難な時代に遭遇している所以であります。こういう事態でありますので、昨42年8月特定織布業構造改善事業法と云う、臨時措置法が生じたのであります。現在私共の絹、化繊織物の、織機台数245,000台、業者数28,000工場、労務者200,000、1企業8.8台41%、老朽化と云われております。

- 1.設備の近代化
- 2.企業集約化、協業化
- 3.過剰設備の処理
- 4.転産業の円滑化
- 5.取引構造の改善
- 6.取引秩序の確保
- 7.商品技術の開発
- 8.市場開拓
- 9.労務対策

今後の構業の項目となっているのでありますが、その期する所は現在設備が過剰のため過当競争が行なわれておりますので、設備台数で2割を減じ、その代り近代化により需要の伸びに対応させ、昭和46年に於いて、現在より15%の増産を計り、業者数に於ても産地毎に協業化やグループ化を進め、業者数も現在の半分へらし、商品の高級化により附加価値を高め、体質の強化を期したいという方針であります。

(449号に続く)

幹事報告

会報到着 石巻、石巻東、宮内RC
例会時間変更 天童RC 4月13日
午前7時30分 舞鶴文化会館
チャーターナイト案内
第365区 大阪大東RC 5月18日 大園園
第352区 前沢RC 6月2日 町体育館
第365区年次大会御案内
10月19日~20日 新大阪ホテル

献 立 焼物一鉢 お汁